

大山レポート

▶ COVER STORY

キオクシアの 虚像と実像

株乱高下の理由と意外な急所

▶ SPECIAL FEATURE

熊本地震が半導体関連企業に
与えた影響は軽微、
8月末には震災前の生産水準へ

▶ MARKET DATA 世界半導体の成長率は100%を超える、メモリ品不足の解消は2027年後半に

世界半導体市場動向／ディスクリート半導体の市場動向／光半導体の市場動向／センサ/アクチュエータ半導体の市場動向／アナログICの市場動向／マイクロ(MPUとMCU)の市場動向／ロジックICの市場動向／メモリICの市場動向／半導体製造装置とメモリICの市況の相関／半導体製造装置の地域別出荷額／台湾TSMCの業績／米Intelの業績／米NVIDIAの業績／米AMDの業績／米Broadcomの業績／米Qualcommの業績／韓国Samsung Electronicsの業績／韓国SK hynixの業績／米Texas Instrumentsの業績／スイスSTMicroelectronicsの業績／独Infineon Technologiesの業績／ルネサス エレクトロニクスの業績／東京エレクトロンの業績／オランダASMLの業績／米Applied Materialsの業績／ファウンドリ企業のウエハ価格推移(40nm~130nm)／ファウンドリ企業のウエハ価格推移(16nm~28nm)／ファウンドリ企業のウエハ価格推移(5nm, 7nm)

大山レポート

2026年第3四半期号 No.9

【A4判 全32ページ】

CONTENTS

COVER STORY

キオクシアの虚像と実像 株乱高下の理由と意外な急所 3

SPECIAL FEATURE

熊本地震が半導体関連企業に与えた影響は軽微、
8月末には震災前の生産水準へ 11

MARKET DATA

世界半導体の成長率は100%を超える、
メモリ品不足の解消は2027年後半に 15

世界半導体市場動向 17

ディスクリット半導体の市場動向 17

光半導体の市場動向 18

センサ/アクチュエータ半導体の市場動向 18

アナログICの市場動向 19

マイクロ(MPUとMCU)の市場動向 19

ロジックICの市場動向 20

メモリICの市場動向 20

半導体製造装置とメモリICの市況の相関 21

半導体製造装置の地域別出荷額 21

台湾 TSMCの業績 22

米 Intelの業績 22

米 NVIDIAの業績 23

米 AMDの業績 23

米 Broadcomの業績 24

米 Qualcommの業績 24

韓国 Samsung Electronicsの業績 25

韓国 SK hynixの業績 25

米 Texas Instrumentsの業績 26

スイス STMicroelectronicsの業績 26

独 Infineon Technologiesの業績 27

ルネサス エレクトロニクスの業績 27

東京エレクトロンの業績 28

オランダ ASMLの業績 28

米 Applied Materialsの業績 29

ファウンドリ企業のウエハ価格推移(40nm~130nm) 29

ファウンドリ企業のウエハ価格推移(16nm~28nm) 30

ファウンドリ企業のウエハ価格推移(5nm、7nm) 30

NOTICE

- 「プロフェッショナルのための半導体情報 大山レポート」は「Amazon.co.jp」でご購入いただけます。価格は8万8000円(税込み)です。
- 半導体やその関連材料、部材、装置などの製造、流通、調達に関わる担当者、そして半導体業界の調査分析に携わる投資家、金融機関、証券会社、コンサルティング・ファーム、研究機関などを含む「プロフェッショナル」の方々のための半導体情報誌です。
- 年4回(3月、6月、9月、12月)の発行を予定しています。
- ご購入いただいた方には、下記のURLでの読者登録をお勧めしております。登録いただいた読者のみなさんには本誌編集長の大山 聡が提供するコンサルティング・サービスや登壇するセミナー、出演するYouTube番組などの情報を随時お届けします。(読者登録ページ URL <https://grossberg.jp/oyama-report/>)
- YouTubeに「大山レポート」のチャンネル(<https://www.youtube.com/@oyamareport>)を開設しました。半導体業界の最新情報などを解説します。是非、ご覧ください。

次号予告(2026年第4四半期号 No.10、2026年12月発行予定)

「半導体製造装置/材料メーカー50社の通信簿」

※内容は変更になることがあります。

大山 聡 (おおやま・さとる) グロスバーク合同会社 代表



慶應技術大学大学院にて管理工学を専攻し、工学修士号を取得。1985年に東京エレクトロンに入社。1992年に日本データクエスト(現ガートナー・ジャパン)に入社し、半導体産業分析部でシニア・インダストリ・アナリストに就任。1996年にBZWジャパン証券(現パークレイズ証券)に入社し、証券アナリストとしてアドバンテスト、NEC、三洋電機、シャープ、ソニー、東京エレクトロン、東芝、ニコン、日立製作所、三菱電機、富士通、松下電器産業(社名はすべて当時)など大手電機メーカーの調査/分析を担当した。その後もエービーエヌ・アムロ証券、リーマン・ブラザーズ証券などで産業エレクトロニクス分野のアナリストとして活躍。日経アナリストランキング産業用電子機器部門で第4位(1999年)、第5位(2000年)。2004年に富士通に入社し、電子デバイス部門 経営戦略室の主席部長として半導体部門の経営戦略や分社化などを担当。2010年以降はアイサプライ・ジャパン(2010年にHISグローバルが買収、現在はOmdia)で半導体や2次電池をはじめとするエレクトロニクス分野全般の調査/分析を担当。2017年に調査およびコンサルティングを主とするグロスバーク合同会社を設立して代表に就任(現職)。テレビ番組やYouTube番組にも多数出演しており、実績としては「BSフジLIVE プライムニュース」(BSフジ)、「テレ東BIZ」(テレビ東京)、「ABEMA Prime」(ABEMA)、「PIVOT」(PIVOT)などがある。

プロフェッショナルのための半導体情報

大山レポート

2026年第3四半期号(2026年9月30日発行) No.9

ISBN978-4-911803-01-1

編集長 大山 聡

企画編集 三好 敏 / 山下勝己(観瀨舎)

校正 杉山典子(観瀨舎)

クリエイティブディレクション 奥村毅正(TSTJ Inc.)

アートディレクション 出羽伸之(TSTJ Inc.)

デザイン 真崎琴実 / 星野純香(TSTJ Inc.)

制作 TSTJ Inc.

発行 観瀨舎

発売 観瀨舎

販売等に関するお問い合わせ

e-mail: oyama_report@kantosha.com

©2026 グロスバーク

<https://grossberg.jp/oyama-report/>

